

## 1993年度秋季大会の参加費払い込み通知票について

大会参加費・懇親会費の払い込み通知票は「天気」6月号の巻末に綴じ込んであります。ご利用下さい。  
 気象学会 事務局

通常払込料金 加入者負担	<b>払込通知票</b>	通常払込料金 加入者負担	<b>払込票</b>
口座番号 東京 3	〒 5 9 5 8	口座番号 東京 3	〒 5 9 5 8
加入者名 日本気象学会	金額	加入者名 日本気象学会	料金 払込み 特殊

各票の※印欄は、  
記載事項を訂正した場  
切り取

### お願い

1. 払込の際、郵便局で発行する**受領証**（この払込票の写し）を大会当日受付に提示していただきますので、大切に保存し、当日必ず持参してください。
2. **10月14日**までに払込を終えてください。

1993年  
日本気象学会秋季大会事務局

この欄は、加入者あての通信にお使いください。

通 信 欄	申 込 書
	1993年日本気象学会 秋季大会参加申込書
	<b>大会参加費</b> 会 員 ￥2,000円 学生会員 ￥1,000円 一 般 ￥2,500円
	<b>懇親会費</b> 前 納 者 ￥5,000円 学 生 会 員 ￥4,000円 当日払い上記に ￥1,000円プラス
	<b>合 計</b> ￥ <input style="width: 50px;" type="text"/>
	（該当事項の金額を○で 囲んでください）

この払込通知票は、機械で使用しますので、下部の欄を汚さないよう特に御注意ください。また、本票を折り曲げたりしないでください。（郵 政 省）

**編集後記：**去る2月15日から3月12日にかけて、筆者の勤務する高層気象台（つくば市）で、ラジオゾンデの国際比較観測が実施された。全世界の高層気象観測所では、上空約30 km までの高層気象を観測するために、毎日2回同時にラジオゾンデを吊るした気球を飛揚している。これらの観測データは日々の天気予報に欠かせないばかりでなく、種々の大気現象や気候変動などの研究調査の基礎資料としても用いられている。

ラジオゾンデは、同じ気象要素を測定するにしても、国や機関により、使用するセンサや測定方式に違いがある。例えば、気温センサのサーミスタとセラミックチップ、風観測のラジオ経緯儀とオメガ方式のように、

このようなラジオゾンデの種類の相違は、気象要素の測定精度の違いや系統差を生み出す。これらを精確に見極めることは、予報解析のみならず、今後の測器の開発や改善にとっても重要である。当国際比較観測はこの観点から世界気象機関（WMO）が主催しており、第4回目である今回は日本、米国、フィンランドの三か国が参加した。比較結果はいずれWMOより公表されるが、ここでの成果が各方面で役立てられることが期待されている。

「天気」では、従来、気象測器の開発や精度、比較観測等に関する論文や各種の報告を掲載してきている。今後もこの分野の投稿が増えることを期待したい。

（下道正則）